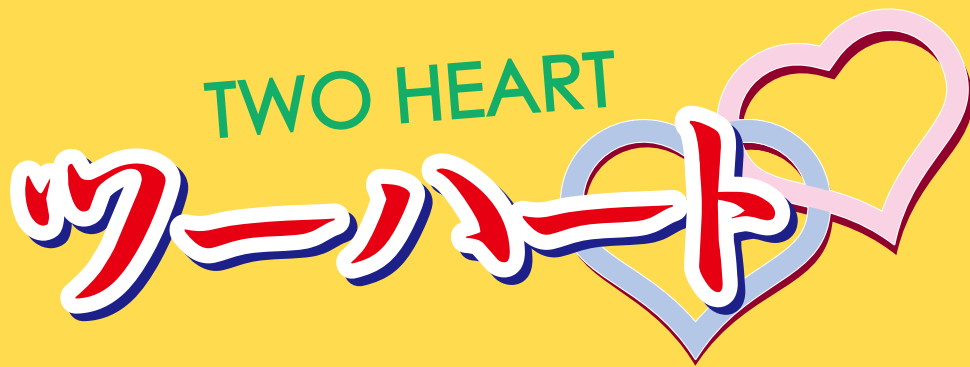


島根県看護連盟だより

TWO HEART



2023/9/30

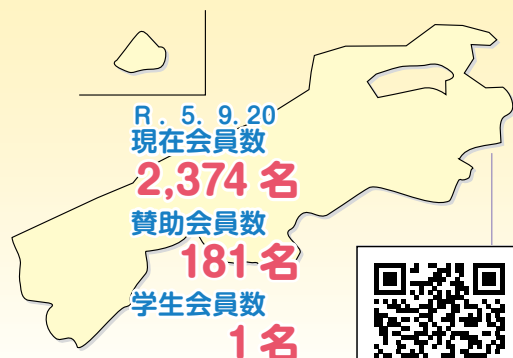
第63号



INDEX

8つの滝がある溪谷美が人気 雲南市 「八重滝」

- 島根県看護連盟会長挨拶 2
- 2023年度 通常総会報告 2
- 2023年度 新任役員・支部長紹介 3
- 現場からのレポート1 4
- 入会案内 4
- 現場からのレポート2 5
- 県議会要望書 5
- 新人研修レポート 6
- 青年部活動報告 7
- 選挙豆知識 7
- 会員数推移 8
- インフォメーション 8
- 編集後記 8



発行: 島根県看護連盟

発行責任者: 会長 川合政恵

〒690-0049 松江市袖師町7-11 看護研修センター内
TEL(0852) 27-6361・FAX(0852) 27-6417
E-mail: shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

島根県看護連盟
ホームページ

* 会長あいさつ *



島根県看護連盟 会長 川 合 政 恵

日頃より連盟活動へのご理解とご支援をいただきありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症が増加に転じ、“9波に入っているのは間違いない”との専門家の見解があります。島根県の感染者数も増え続けており、今後もしたたかなウイルスと対峙しながらの医療活動が続いていくことになるのでしょうか。

今年度も早6カ月が経過、6月の通常総会で承認を得た事業計画に基づき活動を進めています。支部活動における各施設との連携の強化、青年部活動での若手会員の連盟活動への理解と参加の促進に重きを置き、事業の推進を図ります。今年度よりスタートした日本看護連盟の在り方検討会で示された新たな考えも組み込み、これまでの活動の積み上げを目指し取り組んでまいります。

第50回衆議院議員選挙、第27回参議院議員選挙に向け、一層の組織基盤の強化が重要になります。連盟活動の役割は、第一義的に看護の代表議員を政策決定の場へ送ることであり、そのための集票力のある組織をつくることです。会員数は「看護職の政策課題を実現する力」になります。会員の仲間を増やしていきましょう。

研修計画では、“デジタルを活用した選挙戦略”“看護職の仕事とDX活用”などDXの推進に関する研修を開催します。また、令和6年度は6年に一度の医療・介護・障がい福祉のトリプル改訂となり医療・介護提供体制の整備に向けた大きな節目になることから、報酬改定についての研修会を計画しています。会員の皆様のご参加をお待ちいたします。

2023年度 通常総会報告

島根県看護連盟通常総会の開催

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行した6月25日(日)、島根県看護連盟通常総会を開催。池田康枝看護協会会長、細田重雄自民党県連会長、池田一県議会議員、森山裕介県議会議員にご出席・ご祝辞を頂いた。

審議事項 第1号議案 2023年度事業計画(案)、第2号議案 2023年度収支予算(案)、第3号議案 2023年度選挙対策(案)、第4号議案 2023年度改選役員の選出(案)が

原案通り、すべて承認された。総会

開催に合わせ、参議院議員の友納りお先生より特別講演を頂いた。自民党厚生労働部会看護問題小委員会での看護職員全体の処遇改善への取り組み、自民党の各種会議では、こども・子育て政策やメンタルヘルス対策等への取り組みについて報告があった。国政での活動について聴講し、政策実現をめざし活躍されている状況がよく伝わった。



* 2023年度 新任役員・支部長 あいさつ *



監事
岡田 治子

6月25日に開催された、令和5年度島根県看護連盟通常総会において監事として拝命を受けました。今年度からは監事として、島根県看護連盟の事業が適正に運営されますよう任務を務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

これまでは、島根県看護連盟の幹事として、6年間関わらせていただき、看護政策の実現に向けて看護の代表を国政の場へ送る政治活動として、後援会入会名簿の確保に奔走し投票行動への導き等の選挙運動を行いました。また、連盟会員確保に向けては、施設訪問や電話での入会依頼等の活動も行いました。

他に、財務等に関わらせて頂きました。

今後の取り組みとして、連盟活動の理解を得て会員数増加に繋げ組織力の強化を図ること。また、看護職の労働条件の改善等、政治的解決に向けて、看護問題を政策に反映するために、看護現場での問題を分析し、改善・解決のための検討を重ねること。看護職の代表する議員を政策決定の場へ送るために、看護職一人ひとりが政治への関心を高めることのできる活動を行うように働きかけることによって、これからの看護の発展と私達の幸福のために、働き続けられる職場環境づくりが大切と考えます。



幹事
松尾 英子

6月23日島根県看護連盟通常総会において幹事に就任いたしました。これまで出雲OB支部長として、9年間皆様の協力を頂きながらその任を果たしてまいりました。その経験を、看護職全体の問題解決にむけ活かしていきたいと考えます。

7月31日、島根県看護連盟常設の委員会である「現場の声活用委員会」に、担当幹事として出席しました。委員会は、看護の諸問題の改善・解決に関する活動を行います。今年度は、①リソースナースの活動促進 ②現場の課題を明らかにし、市政、県政、国政に要望を提案する。の活動を実施します。今回出席して、各委員の皆様の課題認識能力の高さを実感させていただきました。私は、約10年現場から離れていますが、現状の課題を俯瞰的にみて活動できればと思います。

「現場の声」を届ける私たちの声こそが、政治を動かす原動力となるといわれます。

また、看護職に関連した制度・法律の作成や改正は国会議員にしかできません。次期参議院議員選挙の組織内候補予定者に石田昌宏議員が決定しており、皆様に石田議員の活動について理解を深めていただけるよう、今以上に自分自身の活動の場を拡げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



松江第一支部
支部長
内 部 孝 子

今年度より、角支部長に代わり、松江第一支部長を拝命しました。私は、これまで看護連盟の業務に深く関わることはありませんでしたが、昨年からは現場の声委員会の委員となり、他の委員の方と現場の状況について情報交換をさせていただいております。看護連盟の一員として現場の声を届けることが重要と感じております。松江第一支部の連盟会員の皆様と連携・協力して支部長の役割が果たせるように努力していきたいと思っております。新型コロナウイルス感染症は、感染症法上では第5類となりましたが、現場での対応にはまだご苦労が続いていることと思っております。ひとつでもお役に立つことが出来ればと思っておりますので、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようお願いいたします。



出雲OB支部
支部長
野 尻 聡 子

この度、出雲OB支部(阿国支部)の支部長を拝命しました。阿国支部は平成20年に創設され、当初は6名の会員でスタートしました。現在19名の会員の方々が後輩の皆さんの待遇改善につながるよう、看護連盟の活動に賛同し国政への議員確保に力を発揮していただいております。第26回参議院選挙でも、ともものうりおさんが見事当選され今後の活躍が期待されます。また、今回の選挙戦では「SNS戦略ワーキンググループ」が組織され、時代にあった選挙戦が取り組まれました。支部活動でも、今までの活動を生かしながら時代に合った情報提供や、情報収集が求められています。LINE・ツイッター・インスタグラムなどの活用については私自身理解が十分ではなく、会員の皆様にタイムリーに情報提供できるよう学びながら、支部活動を進めていきたいと思っております。まずは、看護連盟のホームページにたくさんの方にアクセスして頂けるよう働きかけたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

現場からの レポート 1

訪問看護におけるまめネットによる医療連携の現状



島根県看護協会 訪問看護ステーションいずも 安田 和子

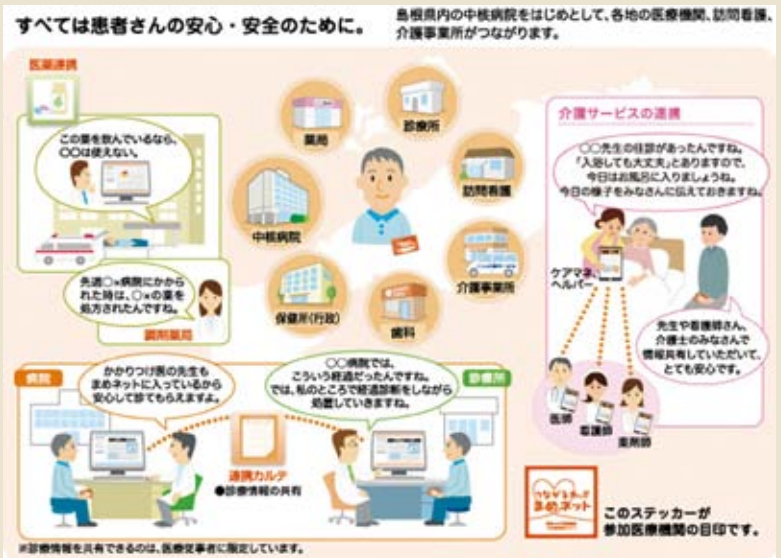
訪問看護ステーションは、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築が進められている中で多職種と協働し、地域住民の健康の維持・回復・生活や穏やかな人生の最終段階を支える役割を發揮しています。訪問看護ステーションいずもでは、複数の医療機関・多職種と協働するための情報共有を効果的・効率的にするためにしまね医療情報ネットワーク「まめネット」を利用しています。まめネットは医療機関・訪問看護・介護事業所を相互につなぐ医療情報ネットワークです。県内の訪問看護ステーションにおいてまめネット利用は、2020年3月が43か所でしたが2023年3月には69か所となっています。その中で連携カルテ・在宅情報共有サービスを60～75%が利用しています。



連携カルテのサービスでは、外来受診時の病状説明・検査データや処方薬内容を訪問前に情報収集することで、追加の看護計画を立てるなど病状を予測し根拠に基づいた看護・病状悪化予防につなげ質の高い看護提供ができています。また一部の医療機関においては入院期間中の治療・処置・検査結果・経過記録の開示があり、退院時期の予測により勤務調整や新たな医療機器の導入時には訪問看護師が早期に技術習得することで、療養者にとって安全で安心した在宅療養への移行ができています。

在宅情報共有サービスでは、主治医を中心に多職種が訪問時の病状や生活状況を伝聞でなく同じ内容を正確にチーム間で情報共有しています。訪問前には事前に利用者の最新情報を把握でき、状態予測し様々な備えをして訪問することができています。皮膚トラブル発生時等には画像で情報共有することで、より正確な情報伝達ができ医師より早期に指示がありリアルタイムに治療を開始するとともに介護サービス・理学療法士・栄養士・福祉用具のサービス調整が出来症状改善につながり、利用者のQOL向上となっています。まめネットの利用は、在宅を支えるチームの資質向上とともに在宅療養者にとって病状の安定、生活維持、QOLの向上に有効です。

また情報共有のためのFAXや電話での連絡調整の回数が減り、時間の短縮・業務の効率化が図れています。近年、感染症や自然災害の被害が拡大傾向にあり、地域において連携強化を図り業務継続をするためにまめネットの利用の拡大を希望します。



2023年度(令和5年度) 看護連盟会員 募集中

- ❖ 看護連盟は看護の現場をよくするために活動しています。
- ❖ 会員一人ひとりが看護連盟の力となります。 ❖ 多くの方の入会をお待ちしています。



正会員・特別会員

年会費 9,000円

(内訳) 日本看護連盟会費 5,000円
島根県看護連盟会費 4,000円

*特別会員：正会員の経験を有し未就業で現在、看護協会員でない方

賛助会員

年会費 1,000円

看護連盟の主旨に賛同していただける人であればどんな方も入会できます

学生会員

会費 無料

就学している看護学生の方

お問い合わせ 島根県看護連盟 電話：0852-27-6361 E-mail：shima-kangoren@Vesta.ocn.ne.jp

現場からの
レポート 2

「これからの医療と生活と地域を繋ぐ看護活動を目指して ～組織を超えた協働への取り組み～」



株式会社 Community Care

訪問看護ステーションコミケア 代表取締役 中澤 ちひろ

私たちは設立8年目、島根県雲南市で活動を行っています。開設当時、地域では「病院が遠い」「働き手がない」など様々な課題がありました。私たちが地域に出来ること、したいことを話し合い生まれた訪問看護ステーションコミケアは、いつの時代もそこに暮らす人たちが幸せになるケアの形を考え続けること、その人の命の源となる、希望や人との繋がり、楽しみを持ち続けることが出来るケアの提供を大切にしています。

開設から8年が経ち、これからますます、偏在する医療介護資源を、1事業所だけで考えるのではなく、地域の需給バランスを考え組織を超えた協働を行うことが求められていると感じ、私たちが取り組み始めた他事業所との協働活動を2つ紹介します。

1つは、エリアを超えた経営・運営を学びあう機会づくりです。エリアが違うからこそ新しい視点があり学びを得る機会を多く作れるため、コミケアでは、全国のネットワークを広げる活動をはじめ、他のステーションさんとの合同経営会議を定期的に行う機会をつくりました。病院看護、施設看護、在宅看護など幅広い療養の場、生活の場での視点と実践、学びを深めるため、今後は地域内外での他事業所さんとの学習連携も進めていきたいと思えます。

もう1つは、地域で「こんなことでできたらいいな」を形にする取り組みです。例えば、相続やお墓のこと、幅広い相談に対応できる場所をつくろうと立ち上がった、うんなん就活支援センター。子ども達が学校以外でも集れる場所を作ろうと始まった地域・子ども食堂。これらの活動はコミケアも構成員の一つですが、他の事業所さんや住民さんが主体となり活動を行っています。こうしたきっかけから、体調の相談を聞いたり、障がいや病気を持った人でも一緒に参加出来る場所ができたりと地域の繋がりづくり、見守り、予防活動に繋がっています。

どれも1事業所だけでは出来ない取り組みですが、みんなの力が合わされば出来るのがたくさんあるのだと気付かされます。これからの10年20年を見据えて、フォーマルもインフォーマルも含めてどんなケアが街に溢れているといいか、私たちの地域の中でも、そして他のエリアの皆さんともみんな考え実践し、進んでいきたいと思えます。

島根県議会へ要望しました。



9月14日、2024年度島根県の予算編成にあたり、島根県看護協会と看護連盟が連名で、看護関連事業に関する要望を自由民主党ネクスト島根 環境厚生部会、島根県議会議員連盟 環境厚生議員連盟に対し要望しました。

看護関連事業予算の確実な確保についての要望事項

1. 特定行為研修修了者の活用推進に関する事
2. 在宅医療に係るDX化に関する事
3. 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）に関する事
4. 看護職の処遇改善に関する事

要 望 書

少子超高齢社会が大きく進展する中、平成26年6月に「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律（医療介護総合確保推進法）」が成立し、地域における効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が開始されました。人々の暮らしの中で、在宅療養を担う訪問看護の役割はますます大きくなり、利用者数の推計において、2025年以降に後期高齢者の割合は7割以上となり、2040年以降ピークを迎えることが見込まれています。在宅医療の提供体制に求められる機能強化として、特定行為研修修了者等の専門性の高い看護職の活用や、看護現場におけるDX化の実現は、利用者サービスの向上や在宅医療に必要な拠点との連携強化に繋がる有効な手段だと考えています。

また、国においては、従来の災害支援ナースによる災害時の応援派遣に加えて、新興感染症発生時の応援派遣にも対応できる看護職員を養成し、派遣する仕組みが整備されるとともに、国家公務員医療職俸給表（三）の改正が行われ、看護職の処遇改善に向けても、歩みが進められ始めたところがあります。

つきましては、2024年度島根県の予算編成にあたり、予算の確保や基金予算の中における看護関連事業予算の確実な確保についてご尽力を賜りますよう強く要望いたします。

記

看護関連事業予算の確実な確保についての要望事項

1. 特定行為研修修了者の活用推進に関する事
2. 在宅医療に係るDX化に関する事
3. 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）に関する事
4. 看護職の処遇改善に関する事

令和5年9月14日

公益社団法人島根県看護協会

会長 池田 康 枝

島根県看護連盟

会長 川合 政 憲

新人研修を受講して



松江市立病院 秦 克博

今回の『2023年度 新人研修』では、看護職能団体の一員として、看護協会活動と看護連盟活動について理解することを目的に研修に参加しました。

看護協会は看護政策の要望書を政府に提出し、看護連盟は代表議員が看護問題の解決を政策決定の場で進展させる活動しています。どちらも看護の質の向上、看護師の地位向上を目的として活動していることを私は知り、実際の労働環境の問題点を変えていく必要性に気付く事ができました。

今回の研修を通して私は、青年部の活動についても興味を持つことができました。これから看護師として働く上で、自らも看護師の地位向上に向けて何が出来るのかを考え、看護協会や看護連盟の活動に積極的に参加をしていきたいです。



松江赤十字病院 石本 桐子

今回 2023 年度の看護連盟新人研修に参加をしました。

私は今年度看護師 4 年目となり部署での看護業務に慣れ、周囲を見る余裕が少しかつてきましたが、働いている中で看護協会や看護連盟といった職能団体について考える機会が少なかったと思います。

今回の新人研修に参加することで、看護連盟と看護協会の違いについて理解することができました。コロナ感染症の流行において医療現場が逼迫している際に看護連盟が政府へ提言を行い、待遇が改善したのだと知りました。コロナ病棟で働いた経験があったためコロナ病棟での物資不足やマンパワー不足等の過酷な現場はつらいこともありましたが、そういった現場の声を届けるために看護連盟や看護協会の職能団体があるのだと思いました。

今後は、働きながら看護師の代表者が政策決定の場で活躍できるように選挙に行ったり、自身の職場環境に目を向けて行きたいと思います。



島根県済生会江津総合病院 盆小原 潤

今回の研修に参加させていただき、看護職能団体の一員として自分は何ができるのかを考える機会を持つことができました。今まで看護協会と看護連盟の違いをよく理解できていなかったが、看護師が働く上での問題点を看護協会が把握して代弁し、看護連盟が政治活動を行うことで労働環境、処遇の改善を行っているということを知り、それによって我々看護師が真剣に患者と向き合うことができているのだと感じた。今後、更に高齢化が進み、新たな問題点が出現してくると予想されるが、時代に応じた労働環境、処遇の改善を行うためにも、現場で働く看護師として問題点を声に出したり、選挙へ行くなど自分自身の意見を持った働き方を行っていきたく思う。



益田地域医療センター医師会病院 看護師 石川 可乃

本研修を受講させていただき、看護協会と看護連盟各々の活動や役割等を学ぶことができました。看護協会が医療現場の問題解決のためにエビデンスをもとに政策の提言をし、看護連盟が政策の実現のために政治活動を行う、というように役割を分担して協働していることを学びました。看護協会と看護連盟が協働することは、働く環境、処遇の改善だけではなく、看護の質の向上、患者さんの安全にもつながることを学ぶことができました。また、これまでの看護協会や看護連盟の政策実現のための働きがあって、私たちはより良い環境で働くことができているのだと思いました。看護職能団体の一員として、まずは看護協会と看護連盟の役割を理解することが必要だと思いました。そして、自ら選挙や研修に参加すること、現場の問題に対して意見をもち発信していくことが必要だと思いました。



益田赤十字病院 渡辺 ももか

私は、看護協会や看護連盟といった言葉を何度か耳にしてきましたが、実際に各々の組織がどのような働きをしているのか詳しく知りませんでした。今回の研修では組織の役割や活動について学び、政治と看護職との結びつきについて理解することができました。

看護職の処遇改善や教育の充実など全てにおいて政治の力が必要であり、政治は看護師の仕事や生活とは切り離せないものだと感じました。また、議員の活躍を知り、自らも社会に向けて現場の状況を発信することが大切だと感じました。さらに看護の専門性を高めることは看護

職としての責務です。1 人の力には限りがあるため、看護職能団体として全体で考え取り組み、より良い看護に繋げていくことが今後重要であると考えました。

声を大きくしていくこと、それしかない。

青年部委員長 遠藤圭介



平素より島根県看護連盟青年部活動に、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。6月12日に参議院議員会館にて開催された全国青年部代表者ミーティングに出席してきましたのでご報告させていただきます。

前半はワールドカフェ方式でグループワークを行い、海外の主権者教育や模擬選挙・模擬国会へのVRの利活用についてなど、青年層が政治をより身近に感じ、確実な投票行動に結びつくためには具体的にどのように行動していけばよいのか、既存の枠組みにとらわれない柔軟な意見交換をしてきました。後半は「進次郎さんと語る二ホンの未来」と題して、講師に小泉進次郎議員をお招きしご講義いただきました。“次世代が看護師になりたいと思えるような環境を整えていく必要がある”、“専門性のある質の高い看護を届けるためには環境が重要”、“より働きやすい環境に向けて制度を整えるためには政界に看護師の声を届けるしかない”、“もっと政界に届く看護師の声を大きくしていくこと、それしかない”と語られ、小泉議員の重みと熱さがある言葉選びと独特の話調、芯の通った話に聞き入ってしまい、大変学びになりました。より働きやすい環境は現場の看護師の誰もが望んでいることだと思います。それを実現していくためには政治の力でしか変えることのできない部分があります。日々目紛しい医療現場ではありますが、一人一人が政治に関心を持ち、行動していくことで、より質の高い看護を提供することにもつながると思います。患者様だけではなく、看護師も笑顔で溢れるように皆さんで声を大きくしていきましょう。



島根県看護連盟青年部のX (旧Twitter) & インスタグラムの公式アカウント!



青年部から
発信します。
ぜひ、ご覧
ください。

選挙 豆知識

★★★



衆議院議員総選挙

総選挙とは、衆議院議員の全員を選ぶために行われる選挙。

「**小選挙区選出**」と「**比例代表選出**」が同じ投票日に行われる。

「小選挙区選出」

全国を295の選挙区に分け、各選挙区ごとに選挙
ひとつの選挙区につき1人を選出

有権者は「候補者の名前」を書いて投票 最も得票数の多い候補者が当選人となる。

「比例代表選出」

全国を11の選挙区（ブロック）に分け、各選挙区ごとに選挙

有権者は投票用紙に「政党名」を書いて投票

政党の総得票数に比例して、各政党の議席数が決まる。

各政党に配分された議席数のなかで、候補者名簿の上位にいる者から順に当選が決まる。



